

## 1. USB ストレージの利用について

画面転送型シンクライアントシステムでは、大きく二種類の USB ストレージ利用方法があります。各利用方法により、システム上で利用する場合の注意が必要となります。

表. USB ストレージデバイスの認識方法

| 認識方法         | USB 認識場所              | リダイレクト方法           | 備考                                                                                                                   |
|--------------|-----------------------|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ドライブマッピング    | ローカル<br>(Wyse ThinOS) | ICA/RDPドライブマッピング機能 | USB ストレージは、Wyse ThinOS ローカルで認識されます。仮想デスクトップやターミナルサービスなどのホストシステム上では、ネットワークドライブの方式で認識されます。                             |
| USB リダイレクション | リモート<br>(ホストシステム)     | TCX/HDX*           | USB ストレージは、直接ホストシステムの OS 上のローカル USB デバイスとして認識されます。Wyse ThinOS 上の USB ストレージ(デバイス)が、ホストシステム上の USB ポートにリダイレクトされて認識されます。 |

\* TCX は、Wyse 社ソフトウェア製品「Wyse TCX Suite」を指します。TCX Suite 製品内の、TCX USB Virtualizer 機能により、USB リダイレクションが実現できます。HDX は、Citrix の HDX(ICA)プロトコル機能を指します。HDX USB Plug & Play の USB リダイレクション機能を指します。

### ドライブマッピング機能を利用する場合の注意点

ドライブマッピングを利用する場合は、Wyse ThinOS ローカルで、USB ストレージを認識します。本機能を利用可能なフォーマット等に関して、下記にまとめます。

#### サポートフォーマット

- FAT16
- FAT32

注意: NTFS やその他形式でフォーマットされた USB ストレージはサポートされていません。これらサポートされていない形式でフォーマットされた USB ストレージを利用しても RDP/ICA セッション内でマッピングされません。

USB ドライブマッピング機能において、現在サポートされる製品は、SCSI/ATAPI コマンドセットと Bulk-Only Transport の転送プロトコルを用いた転送方式を有する USB ストレージ製品となります。

注意: 現在、SCSI/ATAPI コマンドセットと Bulk-Only Transport プロトコルは、USB ストレージで利用される一般的な転送の仕組みのため、通常意識することはありません。ご利用される USB ストレージ製品の仕様に関して、ご不明な点がある場合、製造元へお問い合わせください。